

静岡市剣道連盟

広報だより

第7号

発行：静岡市剣道連盟
事務局：静岡市葵区上足洗4-3-28
☎ 054-246-9551

会長就任にあたり

静岡市剣道連盟

会長 安永宗司



この度、瀧川前会長の県剣道連盟会長就任により、その後任として会長の重責を担うことになりました。

素晴らしい業績をお残しになった瀧川前会長の後を受け、浅学非才の身のため、多くの戸惑いと不安を感じております。皆様のお力をお借り致しまして、ひとつひとつ取り組んでいきたいと思っております。

剣道は、先人たちが命懸けで作上げた日本の「伝統的文化遺産」です。

剣道を愛する大人たちが真剣に学び、そのすばらしさを子供たちに伝え広めることは、我々剣道人の責務であり、少子高齢化が進む現代において非常に重要なことであります。幸いにも当連盟では、前会長の指

導の下、日曜・祝祭日の朝稽古、月・木会による少年指導を組織立てて実践しています。大変喜ばしいことであります。

「来るものは拒まず」剣道を修行する意欲のある人なら誰でもが参加することのできる「開かれた稽古会」です。

事故のない運営を心掛けるとともに、今後により充実した稽古会にしていきたいと思います。会員皆様のさらなる参加を期待いたします。

次にホームページの開設を検討したいと思っています。現在、県剣道連盟、三島剣道連盟・浜松剣道連盟がホームページを立ち上げています。

今は情報化の時代です。いち早く情報を会員の皆様へお伝えして、便宜をはかるとともに、対外的にも静岡市剣道連盟をアピールし、また、連盟の歴史を残して行くことを目指したいと思っております。

微力ではありますが全力をあげて職務を全うしたいと存じますので、よろしくご協力のほど、心よりお願い申し上げます。

居合道・杖道委員長になって

静岡市剣道連盟 居合道・杖道委員長

齋藤 公英



本年度より、

居合道・杖道委員長を任せられ数ヶ月が過ぎ、市剣連主催の居

合道・杖道の体育館指導員講習会、一般講習会、静岡市段別居合道大会（第五回）等の行事が終わり、初めて内側より見、又実行する側になり、その大変さを痛感しているところで

す。特に段別居合道大会は、参加申込人数が予想より少なく、再度各団体・体育館へ参加要請を行い、皆様の御協力のおかげで何とか大会を開催することが出来、ほっとしているところ

です。現在、静岡市の居合道・杖道は、各団体（道場）、県剣連道場（養浩館）での火・水・金・土曜日の自主練習及び各体育館の教室がそれぞれの主体で行われています。居合道・杖道には、古流と全剣連制定の形があります。各団体では、古流及全剣連制定形、養浩館では全剣連制定形を中心に自由に練習され、各体育館では、全剣連制定形の指導がされています。

現在私は、体育館指導員ではありませんが、指導内容については指導員講習会で指導の統一をはかり、指導を行っているとの報告を受けております。

以前の私は、養浩館の稽古にはほとんど参加しておりませんでした。しかし、最近はお出来る限り稽古に参加するよう心がけております。参加者は初心者から高段者まで熱心に稽古を行っておりませんが、残念ながら毎回稽古に参加する人はほとんど同じ人で、比較的年齢の高い人が多いと思われまふ。若い人たちは、それぞれの所属団体での稽古または仕事との兼ね合い等時間を作るのが大変だと思ひますが、この養浩館の稽古は静岡市剣道連盟の会員のすべての人が自由に参加できる稽古会であり、それぞれの人が自分の目的にそった稽古を行いつつ技術の向上やお互いの親睦をはかり、日々精進し稽古に励んでおります。

静岡市の居合道・杖道の発展が成されることを願ひ、今後、微力ながら最大限の努力をしていきたいと思ひます。会員の皆様の御協力をお願いいたします。



年度もさまざまな行事が開催されました)

居合道

平成二十三年七月十七日(日)に静岡県剣道連盟「養浩館」において「第四三回静岡県居合道別選権大会兼第四六回全日本居合道大会県予選会」が行われました。県内各地より二、三六名が参加し、熱戦が繰り広げられました。試合は、段外から六段までが各部門に分かれトーナメント方式で行われ、七段の部は70歳以下と71歳以上で別れて演武形式で行われました。試合結果は左記の通りです。

★試合結果

段外の部 優勝 関 航幸(賀茂) 準優勝 竹下 俊明(沼津) 第3位 宗村 美玲(賀茂)	二段の部 優勝 宗村 一(賀茂) 準優勝 勝瀬 洋司(賀茂) 第3位 平松 大智(賀茂)	三段の部 優勝 中村 弥弘(静岡) 準優勝 山本 亮(静岡) 第3位 川岡 哲(静岡)	四段の部 優勝 山本 智友理(沼津) 準優勝 大田 稔(沼津) 第3位 石丸 一郎(沼津)	五段の部 優勝 池田 育生(静岡) 準優勝 高遠 博彦(静岡) 第3位 久永 秋彦(静岡)	六段の部 優勝 佐下 武人(静岡) 準優勝 佐野 文博(静岡) 第3位 鈴木 一広(静岡)	七段の部 優勝 青嶋 卓司(伊豆東) 準優勝 山崎 秀澄(静岡) 第3位 勝瀬 文孝(静岡)	71歳以上優秀者賞 原田 英夫(静岡) 武田 藤男(沼津)
--	--	---	---	---	---	--	--

本年度 大会結果

★第6回 鈴与杯少年剣道大会(5月8日・静岡市営清水総合運動場体育館)

小学生 ①新運館 ②浜田剣道教室 ③武修館 ③大剣会	中学生(男子) ①服織中 ②翔洋高等学校 ③長田西中 ③清水第七中	中学生(女子) ①長田南中 ②末広中 ③清水第七中 ③合同(翔洋・清水・清水八)
---	--	---

★第5回 万灯みたま祭奉納少年剣道大会(7月30日・養浩館)

5人勝ち抜き者 ・一年 4人の為2試合して全員に景品贈呈 ・二年 佐野 碧(大浜剣友会) 山崎優斗(静岡武修館) 竹村真紘(静岡武修館) ・三年 岡本真乃介(SBS錬心館) 上倉 錬(SBS錬心館) 岡田雅弘(新運館剣教) ・四年 遠藤健心(大剣会) 山崎 陸(三保剣道クラブ) 漆畑まこ(新運館剣教) ・五年 佐藤帆乃夏(新運館剣教) 岩崎 了(大浜剣友会) 村松俊典(興津剣友会) ・六年 小澤夏樹(浜田剣教) 佐々木優(静岡武修館) 木下翔平(新運館剣教) 磯部立(新運館剣教) 望月裕太(浜田剣教) 竹村悠太(静岡武修館) 漆畑成弥(新運館剣教) 前田紘一郎(静岡武修館) 望月大翔(清武館) 森 陽亮(静岡武修館)

★第49回 近県青少年剣道大会(8月14日・北部体育館)

青少年 ①静岡市葵区(静岡市葵区) ②静岡市駿河区(静岡市駿河区) ③白雲館(御前崎市) ③静岡武修館(静岡市)	小学生 ①尚道館(磐田市) ②静岡武修館(静岡市) ③青島剣道スポーツ少年団(藤枝市) ③雄踏剣道スポーツ少年団(浜松市)
---	--

★第二十二回静岡県杖道大会(9月18日・養浩館)

初段以下の部 ①深澤博之(静岡) ②石川武男(沼津) ③紅林昭二(藤枝) ③田中宏昌(静岡)	二段の部 ①京極将矢(浜松) ②前島由明(静岡) ③川口芳正(静岡) ③辻 洋樹(静岡)	三段の部 ①高田松典(静岡) ②福井貞子(磐田) ③高安伸明(静岡) ③山本 亮(浜松)
---	---	---

中体連だより

仲間の大切さ

豊田中剣道部 青島 このみ

私は、市立豊田中剣道部に所属する3年生です。現在の部員は3年まで合わせて男子が18人、女子が19人いて、人数は多い方だと思います。中学校の剣道部は7月に最も重要な試合「中体連」があり、その試合で負けてしまうと3年生はその時点で引退となってしまふので、何とか市大会、県大会、東海大会と一つでも多く勝って多く出場できる事を目標にしています。

豊田中学剣道部の過去の成績は団体戦で2年連続県大会出場を決めているので私が去年の8月に先輩から部活を引き継いだ時には「何としても今年も県大会に出場しなくては」との重圧を感じていました。

しかし、私が部活を引き継いだ時にはみんなが真面目に稽古をしなかったり、特に男子は先生が居なくなると途端に遊んでしまったりと緊張感の無い稽古が続いていました。私は焦りました。「このままでは県大会出場が駄目になってしまう」と。私は女子の部長をする事になったので、せめて女子だけでも目標を果たそうと、毎日部活動に励み、帰宅後も道場に通り稽古しました。そして、順調に調子が上がっていき、豊田中女子は各大会で上位を取る事ができるようになっていきました。そして、ついに最後の中体連を迎えました。私は出来れば男女共県大会出場を果たせるようにと願って大会に臨みました。苦しい静岡市の団体戦で何とか女子が4位に入賞して念願の県大会出場が叶うことになり、とても嬉しかったです。ところが、その直後驚く事が起こりました。なんと男子が2位に入ったのです。3年間共に稽古をしてきたこの仲間と一緒に県大会に行ける事になりました。この仲間と一緒に昇るほど嬉しかったのです。この仲間と努力してきた男女の部員達、そして、ここまで私達を指導してくれた赤松先生、さらに一緒に稽古した先輩方に心からありがとうの言葉を送りたいです。私は既に剣道部を引退しましたが、今後もし豊田中が静岡市の代表として県大会に出場できるといいと思います。



豊田中剣道部 青島 このみ

平成23年度 剣道・杖道・居合道 (本年度)



- ★試合結果
- 段外の部
優勝 伊奈 幸子 (中央体育館)
準優勝 望月 透 (水鷗流)
第3位 鈴木崇一郎 (水鷗流)
- 初段の部
優勝 佐藤 孝志 (長田体育館)
準優勝 米倉 憲一 (水鷗流)
第3位 山梨 優 (水鷗流)
- 二段の部
優勝 石川 達一 (水鷗流)
準優勝 田中 彰次 (春風館)
第3位 青島 昂希 (拓心会)
- 三段の部
優勝 中村 弥弘 (北部体育館)
準優勝 大畑 滋 (拓心会)
第3位 大和田 勇 (清水八重垣)
- 四段の部
優勝 川岡 哲 (無相会)
- 五段の部
優勝 深澤 博之 (水鷗流)
- 六段の部
優勝 松下 武人 (中央体育館)



★第9回静岡市民剣道大会 (10月10日・北部体育館)

四段の部

- ② 田中将士 (浜松)
③ 徳山正美 (静岡)
③ 鈴木好子 (静岡)

五段の部

- ① 吉田賢二 (静岡)

小学四年

- ① 漆畑 まこ (新運館)
② 森 文香 (武修館)
③ 遠藤 健心 (大剣会)
③ 石垣 匠望 (興津剣友会)

小学五年

- ① 岩崎 了 (大浜剣友会)
② 佐藤 亮子 (大剣会)
③ 長田 篤哉 (新運館)
③ 佐原 颯真 (東部体剣教)

小学六年

- ① 佐々木 優 (武修館)
② 竹村 悠太 (武修館)
③ 森 陽亮 (武修館)
③ 望月 大瑚 (清武館)

中学男子一年

- ① 渡邊 拓朗 (翔洋高中等部)
② 雨宮 颯馬 (翔洋高中等部)
③ 小酒井和輝 (橘中)
③ 佐藤 寛太 (南中)

中学男子二年

- ① 正岡 礼 (翔洋高中等部)
② 須田 裕斗 (清水七中)
③ 鍋田 稜馬 (清水二中)
③ 伊石 扇 (長田西中)

中学男子三年

- ① 滝口 翔生 (龍上中)
② 杉山 賢祐 (安東中)
③ 横山 拓紀 (大浜剣友会)
③ 望月 魁 (静岡学園中)

中学女子一年

- ① 小泉 輝歩 (飯田中)
② 杉山 広夏 (龍上中)
③ 杉浦 真穂 (豊田中)
③ 長島 桃花 (服織中)

中学女子二年

- ① 仲田 千紗 (服織中)
② 石垣あゆみ (附属中)
③ 富永 遥香 (蒲原中)
③ 村越 亮里 (服織中)

中学女子三年

- ① 杉元 愛花 (服織中)
② 青島このみ (豊田中)
③ 渡邊 純子 (安東中)
③ 渡邊 梓 (翔洋高中等部)

団体

男子

- ① 翔洋高中等部
② 清水第七中
③ 長田西中
③ 長田南中

女子

- ① 服織中
② 豊田中
③ 長田南中
③ 清水第七中

◆第9回静岡市民中学校新人団体戦 結果報告 (10月16日・静岡市北部体育館)



大学・一般男子

- ① 西澤 陽介 (尚志会)
② 杉元 裕典 (ヤマ・スボ)
③ 若山 昌弘 (武修館)
③ 秋山 知史 (静岡北高)

大学・一般女子

- ① 中嶋小百合 (県立大)
② 横田 愛子 (県立大)
③ 戸塚 綾乃 (県立大)
③ 加藤 志帆 (県立大)

高校男子

- ① 箕輪 拓真 (翔洋高)
② 深見 一貴 (翔洋高)
③ 長島 将喜 (科学技術高)
③ 永川 稜 (翔洋高)

高校女子

- ① 吉岡 彩 (静岡市高)
② 佐藤 敦子 (静岡市高)
③ 鈴木 里佳 (静岡農業高)
③ 河村安紀子 (静岡市高)

高体連だより

清水東高剣道部 田代一平

私たち清水東高剣道部は、顧問の松岡幹雄先生の御指導の下、男子九名、女子四名の計十三名で活動しています。決して多いと言える人数ではありませんが、そんな中でも稽古に活気が出るように、一人一人が意識を高く持ち、日々精進しています。

活動時間は、基本的には月曜日から金曜日まで、放課後と土曜日の午前中です。しかし、清水東高校の校訓は、「文武両道」であり、普段からテストも多いので、思うように稽古時間がとれないこともしばしばあります。そのため、短い時間の中でより充実した稽古をしようと、それぞれが明確な目標を持って取り組んでいます。勉強と剣道の両立は大変ですが、何事にも一生懸命取り組むことが自身の成長につながると考えています。

一方、私たちは道場に「勉強」という言葉を掲げています。しかし、それは「勉強と剣道」という意味ではなく、「剣に勉める」という意味です。道場の中では剣に励むことが全て。このようにメリハリをつけることで、文武両道の精神もより確かなものになっていくと思います。

月に一度行われるOB会には、旧清水市剣道連盟の先生方が御指導に来てくださいます。特に八月のOB会には、例年になく大勢の先生方が来てくださいました。暑い中での稽古となりましたが、先生方は私達にたくさんのアドバイスをくださり、改めて剣道の基本を学ぶことができました。先輩方は、多くの大会では県大会出場を果たしてこられました。過去には、インターハイ全国大会出場という実績もあります。私たちが現在目標としていることは、県大会で「勝ち」ことです。

容易な目標ではありませんが、達成できない目標だとも思いません。これからも、先生方の御指導を素直に受けとめ、仲間と共に切磋琢磨しながら剣に励めていきます。



特 集 記 事

平成22年度 全剣連少年剣道教育奨励賞を 受賞された各道場

「開館40周年と受賞」

錬誠館 小林卓己

この度、静岡市剣道連盟から推薦いただき、道場開館40周年、全面改築10周年という節目の年に、全剣連少年剣道教室奨励賞を受賞することができました。これも偏に、多くの皆様方のお陰と、心からお礼申し上げます。

さて、当錬誠館道場は、昭和46年1月に先代館長である、故堀和男(義父)が清水区駒越の店舗の2階に、心身を鍛錬して至誠の人物を育成する目的で建てたものが始まりであります。堀和男は教育者でもあり、常に穏やかに和やかに指導をし、その人柄を頼って多くの人たちが稽古に励みました。

その後、平成3年暮に堀和男が病に倒れたため、不肖私が道場を引き継いだところであります。先代に比べ技術的にも人格的にも劣る私が、道場を引き継ぐことに、かなり躊躇いたしましたが、多くの皆様のお陰で20年目を迎えることができました。先代と同じ年月を経ることになりますが、先代の功績には到底及ぶものではありません。

現在道場は、私も時間的余裕ができたこともあり、月(18:00~)、水(18:00~)、土曜日(15:30~、19:30~)の週3回、主に小中学生を中心に稽古をしています。特に土曜日の夜の稽古には、佐藤春光先生をはじめとして多くの先生方にはお見えいただき、ご指導を頂いております。また稽古では、毎回木刀を用いて、足捌き、払い、すり上げ、剣道形等を30分程度行い、正しい竹刀の使い方が身に付くよう努力しています。

子供たちに教えるというよりは、子供たちと一緒に自ら楽しみ、結果的に自分のためになっていることに、感謝しています。これからも、試合でなかなか勝つことができない子供が、我慢強く剣道を続け、いつか花開くことを楽しみに、教えていきたいと思っています。



「少年剣道教育奨励賞」を受賞して

大剣会 少年指導担当 佐藤孝志

平成22年11月、「全日本剣道連盟少年剣道教育奨励賞」受賞の知らせは、大剣会の関係者一同に大変な驚きと喜びをもたらしました。ご推薦をいただいた市剣連並びに県剣連の先生方、関係者の皆様方に心から感謝申し上げます。

「大剣会」は、「大谷剣道会」の通称で、師範として故望月義一教士七段を招き、昭和48年に静岡市立大谷小学区のスポーツ少年団の1部門として発足いたしました。

これまでに入門した豆剣士は200人を超え、望月師範の他にも福島平八先生、曾根正夫先生、高橋文也先生などにご指導をいただきながら、子どもから大人まで楽しく活動してきました。

望月師範の亡き後、児童数の減少などもあり、小学生の活動を休止した期間もありましたが、数年前からOB有段者らが中心となってボランティアで小学生の指導を再開いたしました。

現在は、高橋文也先生(市剣連理事)を団の代表者として、「小学生の部」は週2回(火・木)、「中学生以上一般の部」は週1回(木)、約2時間ずつの稽古を行っています。

稽古内容は基本が中心ですが、木曜日19時から21時の「中学生以上一般の部」では、小学生の上級者から中高生・一般有段者までが合同で稽古を行っています。他の剣道教室からの参加者もあり、時には30人を超える人数で体育館いっぱいを使って熱気あふれる稽古となっています。

道場訓は団旗にも記されている「忍耐」です。大会や審査会での結果のみに執着するのではなく、その過程を大切に、子どもたちの心の鍛錬を最大の目的として指導に取り組んでいます。

今回の受賞は、長年大剣会で少年剣道の指導に携わって下さった先生方や先輩・保護者の皆様の取り組みが評価されたものだと思っております。現在活動する私たちは、これまで以上に稽古に励み、受賞団体の名に恥じない節度ある態度で今後さらに活動を盛り上げていきたいと考えています。



編 集 後 記

昨年3月11日に発生した東日本大震災により被災された皆様には心よりお見舞い申し上げますとともに、一日も早い復興をお祈り致します。

平成23年度は、2年に一度の役員改選にあたり、会長、副会長、事務局長、理事長が交代するという異例の年度始めとなりました。

滝川会長はじめ皆様には、原稿を依頼したり、直接御指導を仰いだりと、大変お世話になりましたこと、紙面をお借りしてお礼申し上げます。

さて、安永新会長は、本誌一面の「会長就任にあたり」のご挨拶のなかで、剣道の価値にふれ、これからの剣道の在り方、本市剣道連盟の目指すものなど、具体的な抱負を述べられています。新会長のもと、目的遂行のため、会員一同、一致団結し、努力していこうではありませんか。広報誌も、その一翼を担うよう工夫して参ります。

広報委員長 鈴木 靖

広報副委員長 高橋長吉

広報委員 小林光男 渡辺重和 中野重利